

教科目名 設計製図 (Machine Design & Drawing )

学科名・学年 : 機械工学科 5年

単位数など : 必履修 2単位 (前期2コマ, 学習保証時間 42時間)

担当教官 : 加藤勝敏

授業の概要		
<p>これまで学習してきた専門科目と設計製図の知識, 実習の体験をもとにして, 与えられたデータに基づき可搬式4サイクルガソリンエンジンを設計し, 図面化する. 授業の前半は, 設計法にあて, 計算式の考え方, 各部寸法の決めかたを説明する. 残りの時間は, 各自計算し寸法を決めていく. 途中, 設計書の中間提出を行い, 進捗状況の確認をする. 後半は, 決められた寸法をもとにして図面作成をする.</p>		
到達目標		大分高专目標 (B2), JABEE 目標 (g)
<p>(1) エンジン設計の基礎を学ぶ.                  (2) 設計に必要な許容応力, 安全率, 寸法精度, JIS 規格について理解する.                  (3) 制作可能な図面をつくる.</p>		
回	授 業 項 目	内 容
1 2,3 4 5,6 7	1 設計の方針 2 エンジンの主要諸元の決定 3 燃料空気サイクルの熱計算 4 予想指圧線図の作成 5 平均有効圧力の検討 6 ピストン, クランク機構の力学 7 主要部品の設計 ピストン, ピストンピン ピストンリング, コンロッド	設計の考え方, 仕様および資料について説明する. 各自与えられたデータをもとに主要諸元を決める. PV 線図上で主要な点の温度, 圧力を決める. 作図法を説明する. はじめに設定した平均有効圧力が妥当だったか検討する. ピストンの運動特性, 作用する諸力について説明する. JIS 規格, 有効桁数, 加工精度, 許容応力を考えながら各部品の寸法を決める, 寸法を大きく取っていくと, バランスウェイトが大きくなり, 不都合が生じるので注意.
-----		
中間提出 (設計書)		
8,9 10-14	7 主要部品の設計 クランク軸, エンジンの平衡, フライホイール, 弁, カム, カム軸, ねじり振動 (各自計算と作図)	計算しない細かい部分の寸法は資料見本の図面を参考にして決める.
-----		
最終提出 (設計書, 図面)		
履 修 上 の 注 意	毎回計算をするので電卓を持ってくる. レポート用紙等の計算用紙も準備して来ること. 説明の進捗が早いので, 前回の説明箇所の計算をしておかないと, 次の説明がよく分からなくなるので注意.	
教 科 書	自作テキスト	
参 考 図 書		
関 連 科 目	熱機関工学, 熱力学, 機械設計法, 設計製図 ~ , 工学実験 (エンジンの分解組立て, エンジンの性能試験)	
評 価 方 法	最終成績 = 0.6 × (設計書の点) + 0.4 × (図面点)	